

広島で学んで良かったと思える日本一の教育県の創造

くりっぷ

学校
家庭
地域

Creative Learning Information Paper Vol.53 平成25年11月1日発行 広島県教育委員会



見る、知る、参加する、学校の今!

「学校へ行こう」週間(11月1日~7日)

11月1日の「ひろしま教育の日」を契機に、保護者や地域の皆さんに学校教育の今を知っていただくため、「学校へ行こう」週間では、全県的に学校を開放しています。

この機会に、ぜひ学校に足を運んでみませんか。詳しくは各学校へお問い合わせください。



平成25年度「ひろしま教育の日」メッセージ・ポスター

メッセージ最優秀作品 県立広島中学校2年 高林 綾花さん
ポスター最優秀作品 県立福山誠之館高等学校1年 和田 ほの花さん

教員の授業づくり

わかった!できた! 実感できる授業づくりへ

学校の教員は、研究授業や研究協議会等を通して、これまでの授業を振り返り、児童・生徒が主体的に課題を解決し、「わかった」「できた」と実感できるような授業づくりに努めています。

学校間で連携し、実践的な授業を 海田中学校区

小・中学校

小学校と中学校または中学校同士が連携し、教科指導と生徒指導の一体的な対策を行うことにより、児童生徒の学力の向上を図る「学力向上総合対策事業」を昨年度から実施しています。

今年度は、小中連携25地域、中中連携9地域(計:小学校59校、中学校47校)が、学力向上を図るための実践的な研究に取り組んでいます。



海田中学校区では、学んだことを基に自分で考え、友達の多様な考えに触れることで、学習内容の理解を深める取り組みをしています。一人ひとりに応じた支援を行ったり、学びの姿を肯定的に評価したりすることで、どの子どもも持っている「分りたい」という気持ちを大切に育てています。そのために、小・中学校の教員がお互いの授業を参観し、より効果的な教科指導の工夫やお互いを認め合う集団づくりについて研修しています。



教員が教科ごとに集まり授業を研究 理科部会「化学実験講習会」

高等学校

広島県高等学校教育研究会は、教科別・領域別に計27部会で組織され、教員が自主的に創造的な研究を行い、授業づくりに活かしています。

学習指導要領の改訂の趣旨に沿った授業づくりや、生徒が主体的・創造的な学習ができる授業づくりを行っています。



観察、実験の方法などに関する様々な経験や知識を次世代の教員に伝えていくことを目的として、理科部会による「化学実験講習会」が7月に実施されました。講師による授業で行う実験の紹介の後、様々な学校から集まった教員が実験を実際に行い、化学実験を取り入れた今後の授業の在り方等について協議しました。



生徒に目的意識をもった観察・実験を行わせることにより、科学的に調べる能力や態度を育てることができると考え、教員が一体となって様々な研修を実施しています。

学校支援地域本部を実施中!

みんなで育てる、地域で支える

社会がますます複雑多様化し、子どもを取り巻く環境も大きく変化する中、教育の充実を図るためには学校、家庭、地域の連携協力が求められています。

学校支援地域本部は、学校のニーズに応じて地域の皆さんが支援する、“地域につくられた学校の応援団”と言える活動で、広島県の様々な地域で実施されています。

地域のこどもは地域で育てる! 廿日市市 大野中学校区

大野中学校区学校支援地域本部は、大野西小学校と大野中学校の両校を対象に、様々な学校支援活動を行っています。

小学生には、書写等の指導補助を行う学習支援活動や朝の読み聞かせ活動など、中学生には、国語、数学、英語などの学習支援や部活動の支援など、活動の内容は多岐にわたります。

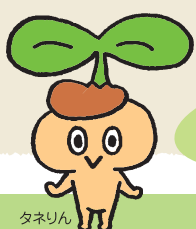
また、大野中学校の生徒が、各地域を代表する「子ども区長」となり、大人の区長と協力して実施する「地域の清掃活動」には、大野西小学校6年生も参加し、学校が地域に貢献する活動を行っています。

こうした活動をきっかけに、子どもたちは地域の大人と知り合いになり、地域行事へ積極的に参加する姿が見られるようになっていきます。これからも、学校と地域、そして家庭が連携する活動を継続的に取り組んでいきます。



▲大野中学校区は、平成23年度「優れた「地域による学校支援活動」推進にかける文部科学大臣表彰」を受賞しました。

◀地域の清掃活動の事前打合せにおいて、大人の区長と中学生の「子ども区長」が実施方法等について協議します。



みんなが応援団なんだね